

出雲市全体 業種別景況（令和4年4月～令和4年6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				前年同期(令和3年4月～6月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				今期(令和4年4月～6月期)と比べた 来期(令和4年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	34.9	29.1	36.0	△ 1.2	38.0	27.5	34.5	3.5	20.1	46.7	33.1	△ 13.0
2 採算（経常利益）	22.4	47.1	30.6	△ 8.2	24.7	41.8	33.5	△ 8.8	14.9	53.6	31.5	△ 16.7
3 資金繰り	7.7	73.8	18.5	△ 10.7	10.2	67.7	22.2	△ 12.0	6.1	71.5	22.4	△ 16.4
4 従業員（含臨時・パート）	13.3	76.5	10.2	3.0	14.5	66.1	19.4	△ 4.8	3.7	85.9	10.4	△ 6.7
5 商品（製品）在庫	11.3	72.2	16.6	△ 5.3	13.3	67.3	19.3	△ 6.0	7.3	78.1	14.6	△ 7.3
6 業況（自社）	20.2	54.2	25.6	△ 5.4	24.6	50.3	25.1	△ 0.6	15.2	60.6	24.2	△ 9.1

注) ↑増加・上昇・好転 — 不変 ↓減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	34.2	4.8	14.3	23.8	20.6	11.1	23.8	1.6	65.8
2 来 期	45.0	7.8	12.2	30.0	20.0	13.3	14.4	2.2	55.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	30.4	15.1	11.0	9 金利負担の増加	0.6	0.0	1.6
2 新規参入業者の増加	3.1	3.4	0.8	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.3	4.8	8.7	11 事業資金の借入難	1.2	0.7	1.6
4 材料（原材料）等の入手難	5.6	10.3	3.1	12 従業員の確保難	11.8	11.0	10.2
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	29.8	24.0	8.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	1.9	8.2	24.4
6 人件費の増加	3.1	9.6	6.3	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.9	4.1	2.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	3.1	7.5	16.5	15 そ の 他	2.5	1.4	3.9
8 商品（製品）在庫の過剰	0.6	0.0	0.8				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				前年同期(令和3年4月～6月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				今期(令和4年4月～6月期)と比べた 来期(令和4年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	20.8	41.7	37.5	△ 16.7	29.2	45.8	25.0	4.2	4.2	66.7	29.2	△ 25.0
2 採算(経常利益)	8.3	79.2	12.5	△ 4.2	12.5	66.7	20.8	△ 8.3	4.2	79.2	16.7	△ 12.5
3 資金繰り	4.2	91.7	4.2	0.0	4.2	91.7	4.2	0.0	0.0	91.7	8.3	△ 8.3
4 従業員(含 臨時・パート)	25.0	70.8	4.2	20.8	25.0	70.8	4.2	20.8	4.2	95.8	0.0	4.2
5 商品(製品)在庫	0.0	94.1	5.9	△ 5.9	5.9	88.2	5.9	0.0	0.0	88.2	11.8	△ 11.8
6 業況(自社)	9.1	77.3	13.6	△ 4.5	13.6	77.3	9.1	4.5	9.1	77.3	13.6	△ 4.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	44.4	0.0	16.7	16.7	25.0	8.3	33.3	0.0	55.6
2 来 期	52.9	5.6	22.2	22.2	22.2	5.6	22.2	0.0	47.1

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	12.5	14.3	11.1	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	4.2	4.8	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.2	4.8	5.6	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	8.3	9.5	11.1	12 従業員の確保難	20.8	14.3	11.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	37.5	19.0	5.6	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.2	4.8	0.0
6 人件費の増加	8.3	19.0	5.6	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	5.6
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	4.8	38.9	15 その他	0.0	4.8	5.6
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

・円安、ウクライナ問題で材料のすべてが値上がりをしているが、それを売上に反映しにくく、利益が増えない。

《製造業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				前年同期(令和3年4月～6月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				今期(令和4年4月～6月期)と比べた 来期(令和4年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	29.4	29.4	41.2	△ 11.8	36.4	27.3	36.4	0.0	39.4	39.4	21.2	18.2
2 採算(経常利益)	20.6	44.1	35.3	△ 14.7	21.2	42.4	36.4	△ 15.2	30.3	48.5	21.2	9.1
3 資金繰り	3.0	78.8	18.2	△ 15.2	9.4	71.9	18.8	△ 9.4	12.5	71.9	15.6	△ 3.1
4 従業員(含臨時・パート)	20.6	64.7	14.7	5.9	18.2	54.5	27.3	△ 9.1	6.1	78.8	15.2	△ 9.1
5 商品(製品)在庫	6.3	81.3	12.5	△ 6.3	9.7	74.2	16.1	△ 6.5	6.3	78.1	15.6	△ 9.4
6 業況(自社)	21.2	45.5	33.3	△ 12.1	31.3	37.5	31.3	0.0	30.3	48.5	21.2	9.1

注) ↑増加・上昇・好転 —不変 ↓減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	43.6	5.9	11.8	29.4	23.5	11.8	17.6	0.0	56.4
2 来 期	50.0	9.5	9.5	38.1	9.5	19.0	9.5	4.8	50.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	24.2	7.1	4.2	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	3.6	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	3.0	3.6	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	9.1	25.0	0.0	12 従業員の確保難	9.1	14.3	20.8
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	48.5	17.9	8.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	10.7	37.5
6 人件費の増加	3.0	14.3	8.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	3.6	20.8	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	3.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・原材料価格の上昇を売価に反映できない。
- ・各種資材が5～10%程度価格上昇している。
- ・仕事は一定量確保するも、コロナウイルスの影響で、材料等の入手が困難かつ長期化している。
加えて価格の上昇が続き、売価への転嫁も厳しく収益性は悪化傾向である。
- ・材料・部品が入手出来ず、納期に間に合わず困っている。
- ・電気代が上昇して、負担が大きい。
- ・半導体、原材料不足による一部部品の入手難があり生産が減少している。
- ・今、考えられる事の一つづつやった。県外での売り込みや展示会等積極的に出かけた。少しづつ好転してきている。
- ・材料等仕入価格が上昇し続けており利益が減る一方である。
- ・部材の調達先がウクライナ周辺国であり、ウクライナの戦争が心配の種です。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				前年同期(令和3年4月～6月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				今期(令和4年4月～6月期)と比べた 来期(令和4年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	41.2	41.2	17.6	23.5	35.3	29.4	35.3	0.0	29.4	47.1	23.5	5.9
2 採算(経常利益)	35.3	41.2	23.5	11.8	29.4	29.4	41.2	△ 11.8	23.5	52.9	23.5	0.0
3 資金繰り	5.9	76.5	17.6	△ 11.8	5.9	76.5	17.6	△ 11.8	11.8	82.4	5.9	5.9
4 従業員(含 臨時・パート)	11.8	82.4	5.9	5.9	11.8	70.6	17.6	△ 5.9	0.0	100.0	0.0	0.0
5 商品(製品)在庫	17.6	58.8	23.5	△ 5.9	17.6	52.9	29.4	△ 11.8	17.6	64.7	17.6	0.0
6 業況(自社)	29.4	52.9	17.6	11.8	29.4	52.9	17.6	11.8	23.5	58.8	17.6	5.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	35.3	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	64.7
2 来 期	45.0	0.0	11.1	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	55.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	31.3	6.7	23.1	9 金利負担の増加	0.0	0.0	15.4
2 新規参入業者の増加	6.3	6.7	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	6.3	6.7	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	7.7
4 材料(原材料)等の入手難	6.3	6.7	7.7	12 従業員の確保難	6.3	6.7	0.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	37.5	26.7	7.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	6.7	23.1
6 人件費の増加	0.0	6.7	7.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	13.3	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	6.3	13.3	7.7	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・5～6月は好調であったが、7月はコロナ感染者が激増し、飲食店利用の人数制限があるため売上が減少した。7～9月に売上伸ばしたい所だが、厳しい状況である。
- ・輸入商品のため仕入価格が値上がっている。後継者不足での廃業も検討している。
- ・コロナウイルス、物価高、エネルギーコスト増の三重苦が生じている。価格転嫁が難しく売上は若干上がるが利益はでない状況である。
- ・コロナ増加で回復の雰囲気ブレーキが生じている。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				前年同期(令和3年4月～6月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				今期(令和4年4月～6月期)と比べた 来期(令和4年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	37.5	20.8	41.7	△ 4.2	50.0	18.8	31.3	18.8	14.6	52.1	33.3	△ 18.8
2 採算(経常利益)	19.1	44.7	36.2	△ 17.0	27.1	39.6	33.3	△ 6.3	8.3	56.3	35.4	△ 27.1
3 資金繰り	4.3	71.7	23.9	△ 19.6	10.9	56.5	32.6	△ 21.7	4.3	76.1	19.6	△ 15.2
4 従業員(含臨時・パート)	15.6	77.8	6.7	8.9	13.3	73.3	13.3	0.0	6.7	84.4	8.9	△ 2.2
5 商品(製品)在庫	19.1	55.3	25.5	△ 6.4	21.3	55.3	23.4	△ 2.1	10.6	76.6	12.8	△ 2.1
6 業況(自社)	16.7	54.2	29.2	△ 12.5	27.1	47.9	25.0	2.1	6.4	70.2	23.4	△ 17.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	36.5	10.5	15.8	31.6	15.8	0.0	21.1	5.3	63.5
2 来 期	45.5	12.0	12.0	24.0	28.0	16.0	8.0	0.0	54.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	33.3	21.4	17.9	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	6.7	2.4	2.6	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.2	2.4	10.3	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.4	7.1	2.6	12 従業員の確保難	15.6	4.8	5.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	20.0	28.6	7.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	9.5	23.1
6 人件費の増加	2.2	7.1	5.1	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	4.4	9.5	5.1
7 仕入・人件費以外の経費の増加	4.4	7.1	15.4	15 その他	6.7	0.0	2.6
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	2.6				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・エアコン、エコキュート好調である。
- ・仕入価格は過去最高値になっている。
- ・4～6月のガソリン販売数量はコロナ前2018年4～6月と同水準に戻りました。しかし6月下旬からのコロナ蔓延のため、7月は厳しい。
- ・コロナが減少傾向にあったため、5月までは売上が好調だったが、6月に入り暑さが厳しくなり、売上が減少している。
- ・マスクをつけることにより、美容の手抜きをされる方が多く、今、しみ、顔のたるみを訴えられる。チャンスとして利用したいですが、お財布は固い。
- ・コロナ3年目。今年度も忍耐の年になりそう。
- ・昨年より競技大会開催により売上げアップした。
- ・商品入荷が遅い。
- ・コロナの感染拡大により、売上げが上向いたものが、また下がってしまった。当店もコロナにより、10日間営業を休んだ。
- ・コロナのため、大阪東京への出張仕入が出来ない。
- ・材料の仕入価格が上がるが価格転嫁がしにくい。
- ・海外からの商品が届かなくて困っている。5月6月に各メーカーが値上げをして来たため、値上げ前に商品をアピールして販売に繋がらなかった。
- ・コロナで展示会が出来ない。
- ・新車の入荷時期が長い。中古車が価格上昇している。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				前年同期(令和3年4月～6月期)と比べた 今期(令和4年4月～6月期)の状況				今期(令和4年4月～6月期)と比べた 来期(令和4年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	40.8	26.5	32.7	8.2	32.7	26.5	40.8	△ 8.2	17.0	36.2	46.8	△ 29.8
2 採算(経常利益)	29.2	37.5	33.3	△ 4.2	29.2	35.4	35.4	△ 6.3	13.0	41.3	45.7	△ 32.6
3 資金繰り	16.7	62.5	20.8	△ 4.2	14.6	60.4	25.0	△ 10.4	4.3	52.2	43.5	△ 39.1
4 従業員(含臨時・パート)	0.0	84.8	15.2	△ 15.2	8.7	63.0	28.3	△ 19.6	0.0	81.8	18.2	△ 18.2
5 商品(製品)在庫	7.9	81.6	10.5	△ 2.6	7.9	73.7	18.4	△ 10.5	2.6	81.6	15.8	△ 13.2
6 業況(自社)	25.0	50.0	25.0	0.0	20.8	47.9	31.3	△ 10.4	13.0	52.2	34.8	△ 21.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今期	18.4	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	0.0	81.6
2 来期	34.7	5.9	5.9	35.3	23.5	11.8	17.6	0.0	65.3

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	41.9	17.5	3.0	9 金利負担の増加	2.3	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	2.5	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	7.0	7.5	18.2	11 事業資金の借入難	4.7	2.5	3.0
4 材料(原材料)等の入手難	2.3	5.0	0.0	12 従業員の確保難	7.0	15.0	12.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	18.6	25.0	12.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.7	7.5	30.3
6 人件費の増加	2.3	5.0	6.1	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.3	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	4.7	10.0	6.1	15 その他	2.3	2.5	9.1
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・お客様の増加が見込める中、人手を確保出来ない。
- ・やはり、コロナは影響が大きいです。
- ・4月～6月は1度はコロナ減少のさざしがあったが、数日後一変して、お客様もまた自粛モードになり、売上に影響している。
先がみえない状況であり、借入をして資金繰りをなんとかまわしているが返済時が不安である。
- ・コロナ禍徐々に改善傾向にあるが、来期以降は不透明である。
- ・主になる結婚式、宴会、宿泊などすべてがストップした。スタッフも辞めてしまった。
- ・ここへ来て、出雲市でのコロナ拡大で、宿泊予約のキャンセルが入り始めた。
小麦粉、油等の値上がりで、販売価格を改定せざるを得ない状況である。
- ・依然としてコロナの影響により、コロナ前の数字にはもどらない。
- ・島根県、出雲市共に過去最高の感染者で、6月末から7月の宴会がほぼキャンセルとなった。
- ・冷凍ガニなどが手に入らない。コロナなのか、ネットロコミなのかは不明である。
- ・コロナの感染増が見通しを暗くしている。
- ・来店サイクルの長期化による年間1人当たり（顧客）の売上の減少している。
- ・コロナ資金元金、利子の返済への不安がある。コロナの終息を期待している。